

北区会 自由な趣味の会

第34回「書道とペン字の会」活動計画(改)

2021年 5月 24日(月)

1. 参加者と場所と時間

時間	場所	参加予定者
9時00～12時00	タンポポ	講師藤澤淑子: 庶務土井、佐伯、鬼村、長谷川、道満、山崎、河合、平井、瀬町、前田、味村初子 永井ツネヨ敬称略12

はじめの会

楷書は直立のごとく、行書は歩むのごとく、草書は走るのごとく。行書は読み易く書きやすいので最も実用的な書体。

2 藤澤講師一言

書は楷書に始まり、楷書に帰る。「楷書は始めから終わりまで、終生書通して大切書体です」基本: 一点一画を徹底する事が必要。行書は読み易く、しかも一般的に最も使い勝手良い書体です。

3 提案: 会の改名。「書道とペン字の会になりました。」

4 藤澤講師 提案の書

* 手本: 土井庶務～基本 手本書はメールで送信されている。

* 藤澤講師が作品 書の書き方説明と添削をして頂く。

今までの宿題と本番の書。日々の練習この文字を日々繰り返し手本にしてください!

第32回練習書 楷書「掃命庭充」& 行書「其源故知」

第33回練習書 1 楷書「清和」& 行書「清和」 楷書「仍藁街委」 行書「森々凡愚」

ペン字

2 卯月・入社・東風・春雨・花守・日永・余寒・山桜・残雪・摘草・水仙・白魚

3 ひらがな: あいうえおかきけおさしすせそたちつととなにぬねのはひふへほまみ

第34回練習書 楷書「己来未之」孔子廟碑・初唐三大家 虞世南(558～638)

楷書「淑氣」 行書「淑氣」

意味 春の和やかな気配は時と共に消え、名残の香りも風と共に去っていく

申し合わせ及び注意事項

- 1) 欠席者は事前に幹事「土井」へ連絡する
- 2) 諸道具は自身で持参、その服装などの準備もお願いします
- 3) 一回500円の諸費を参加出席者をお願いします。

次回予定

第35回活動計画

令和三年 6月 〇〇日(月) 9時～12時

場所: しあわせの村内 KSC教室又は 研修室・タンポポ等

北区会 自由な趣味の会

第三十四回「書道とペン字の会」活動記録

2021年 5月 24日(月)

1. 年月日、天候、活動人員、時間等

2021年5月24日(月)	天候	気温(°C)		活動人員 (午前)
		最高	最低	
	晴	24	17	6人

2. 本日の参加者と場所と時間

時間	場所	参加者
9時～12時	タンポポセミナー	講師藤澤淑子: 庶務土井昭政、鬼村信行、前田仁子、山崎節子、佐伯義昭、永井ツネヨ。6名 休会: 道満、長谷川。

はじめの会

バランスの取れた文字を形成には毛筆硬筆を問わず造形の基本的な考え方も基づいて書く事が大切。主なポイント: 水平、垂直、平行、等間隔、等分割、均衡、中心線一貫の七つで、配慮して書くと美しい文

2. 活動概要 課題文字

* 藤澤講師、今月のテーマ書体:

楷書「己 来 未 之」孔子廟碑・初唐三大 虞世南(558～638)

楷書「淑気」 行書「淑気」

意味 春の和やかな気配は時と共に消え、名残の香りも風と共に去っていく

ペン字 卯月・入社・東風・春雨・花守・日永・余寒・山桜・残雪・摘草・水仙・白魚

ひらがな: あいうえおかきくけおさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみ

コロナコロナに負けない講師、と饒舌な言葉の数々こそ上達の道?



本日会のよもやま話し

本日教室での活動風景 撮影して頂きましたが、道満がうっかり 消してしまいました。

大変失礼しました。

今回は小人数での書道教室になりましたが、お聞きしましたところ皆様たん々と書を楽しまれたとの事で

本年9月で趣味の会も3年目になります。総合展示会も素晴らしいイベントになりました。

月一回の教室、継続は力の言葉通り、ますます成長、趣味の域に進んでいます。

今後ともぼちぼちながら 楽しく活動したいものです。(謝々)

申し合わせ及び注意事項

- 1) 欠席者は事前に幹事「土井」へ連絡する
- 2) 諸道具は自身で持参、その服装などの準備もお願いします
- 3) 一回500円の諸費を参加出席者をお願いします。

3. 次回参加者と場所と時間 宿題など

第35回 書道の会

月 日 時間	場 所	参 加 者(予定)
令和3年 6月 28日(月) 9時～12時	KSC 園芸教室	講師藤澤淑子: 庶務土井昭政、山崎節子、鬼村信行、山田靖子、長谷川洸士、佐伯義昭、道満俊徳、平井晴美、前田仁子 味村初子、永井ツネヨ。

文責 道満

道満のつぶやき！

習い事全般、スポーツ全般、全ては基本が大事なことを、今頃実感しています。書にも古文の知識必要ですが、なかなか勉強は難しい、書く事はお手本を観乍ら、講師の注意とお手本を聞きながらしています。基本の楷書を続ける上で下記の基本型をもっと続けるべきと気随ています(今頃なんだあ〜でしょうけど)

古来”楷法の極則”として、欧陽詢が書した「九成宮醜泉銘」基本型 書の筆法言葉ご存知？

- 横画** 45度の角度で入筆 仰・平・覆と横書 線の反りの方向、筆圧の浮沈に注意。
- 縦画** 息の長さ、微動だしない力強い線、運筆の途中気を緩めない。
- はね** 力を凝縮し末端まで力を抜かず、短めにはね、運筆を速くせず筆先をまとめるようなつもりで、
- 転折** 一呼吸おいて、筆を入れ直すようなつもり。横書きを細く、縦書きを太く重厚に書く。
- はらい** 右はらいは筆の弾力を生かせ徐々に太く、下へ曲がる所は一旦筆を止め水平にはらう。左はらいは最後まで筆先を利かしシャープに。シンニュー・エンニュー・ソウニューは入筆で筆を立て筆先の弾力を生かして運筆する、直線的な線は徐々に太くし、横方面は鋭く払い出
- 点** 角度・長短・軽重・太細は様々。観察し筆の入る方向と抜く方向に注意。
- 主画** 主画は縦横画とはらいなど、縦方向に主画あれば、縦長の文字になり逆に横方向に主画があれば扁平な文字。
- 背勢** 文字の形を説明する際に、向勢(懐の広い文字)と背勢(懐を引き締める文字)が比較対照、接近した偏旁と内側に反った線が背勢となり長い線を効果的に使い、筆画を離すと文字は
- 偏旁** 偏と旁の関係において、高低、広狭など多彩に変化させながら空間を上手に生かし、絶妙のバランスで釣り合わせ、理知的な空間処理の妙は習う方に楽しみであり難しいところでありま

以上 実筆は今後 講師から、お手本の書にして頂きたいと思っています。